

コース名	Oliveコンサルティングコース	AI投資コース	匠の運用コース	レバレッジ運用レバナビコース	レバレッジ運用レバチョイスコース	ALL株式コース
特徴	<p>洗練された運用を業界最低水準*のコストでOlive顧客専用のラップサービス</p> <p>三井住友フィナンシャルグループの投資助言会社による専門的な運用を業界最低水準*のコストで提供。所定の条件を満たすとアドバイザーによるプレミアムサポートサービスも。長期運用だからこそ成果に差が出るコスト・サポートをOliveご利用のお客さま専用にご提供します。</p> <p>*一般社団法人 資産運用業協会が公表する「契約資産状況（2025年12月末現在）」におけるラップ業務の契約資産状況の上位10位による。2025年12月時点、Oliveコンサルティング調べ。</p>	<p>人を凌駕するパフォーマンスを目指すAI投資</p> <p>市場動向を先読みするAI投資で、あらゆる相場局面への対応を目指します。</p> <p>投資環境に左右されにくい安定した収益の獲得を目指し、野村アセットマネジメント独自の投資戦略を活用します。</p>	<p>時代や技術が進んでも揺るがないプロフェッショナルの英知を結集</p> <p>野村アセットマネジメントが独自に開発した「オールウェザー・ファクターアロケーション戦略」で、市場環境に応じて臨機応変に対応します。</p>	<p>“黄金比×レバレッジ”投資効率と資金効率の2つを追求した新型ラップ</p> <p>最も高い資産分散効果が期待できる資産分散ポートフォリオ（＝黄金比）に、レバレッジをかけて運用します。</p> <p>相場変動に応じてレバレッジ倍率が自動で変更します。</p>	<p>“黄金比×レバレッジ”投資効率と資金効率の2つを追求した新型ラップ</p> <p>最も高い資産分散効果が期待できる資産分散ポートフォリオ（＝黄金比）に、レバレッジをかけて運用します。</p> <p>5つのスタイルからレバレッジ倍率をお好みで選ぶことができ、いつでも変更可能です。</p>	<p>3つの株式戦略を駆使し、世界株式*を上回るパフォーマンスを追求</p> <p>3つの株式戦略を、プロが市場環境に合わせて機動的に配分することで、世界株式を上回るパフォーマンスを目指します。</p> <p>*MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）</p>
運用方針	<p>データサイエンスや金融工学を駆使した設計</p> <p>中長期的な資産成長と安定的な収益確保を目的に、投資家のリスク許容度に応じた最適なポートフォリオを構築し、効率的な長期・国際分散投資の機会を提供します。</p> <p>ポートフォリオは、計量モデルにより策定した長期的な視点に基づく資産配分をベースに、短中期的な見直しを適宜反映します。</p>	<p>人が介在しないAI予測に基づく運用</p> <p>AI技術によるマーケットデータ分析で、将来を予測。その予測値を活用し、ノーベル賞受賞者が提唱した伝統的なアルゴリズム等を用いて、効率的な投資配分を決定します。</p>	<p>プロが投資判断を行う野村AM独自の運用戦略</p> <p>野村アセットマネジメントが独自に開発した「オールウェザー・ファクターアロケーション戦略」で、市場環境に応じて臨機応変に対応します。</p>	<p>レバレッジを活用し、投資効率を維持しつつ資産効率を高める運用戦略</p> <p>大和アセットマネジメントが最も投資効率が高いと考えられる“黄金比ポートフォリオ”を決定します。更にレバレッジを活用することで、黄金比ポートフォリオの資産配分比率はそのままに資産効率を高めます。</p> <p>相場の“平均回帰性”に着目し、相場変動に応じてレバレッジ倍率を変更することで、高いリターンを獲得を目指します。</p>	<p>レバレッジを活用し、投資効率を維持しつつ資産効率を高める運用戦略</p> <p>大和アセットマネジメントが最も投資効率が高いと考えられる“黄金比ポートフォリオ”を決定します。更にレバレッジを活用することで、黄金比ポートフォリオの資産配分比率はそのままに資産効率を高めます。</p> <p>スタイル別に目標リスク水準を設定し、レバレッジ倍率を調整した運用を行います。</p>	<p>三井住友DSアセットマネジメント独自の運用戦略を活用</p> <p>経済や金利などのマクロ的視点から分析し、業種やファクター、国・地域の配分を決めるトップダウン・アプローチを採用しています。三井住友DSアセットマネジメント独自の運用戦略を活用することで、中長期的に世界株式*を上回るリターンを目指します。</p> <p>*MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）</p>
投資対象	<p>10種類のインデックスファンドを通じて世界中に分散投資</p> <p>日本株式、先進国株式、新興国株式、日本債券、先進国債券（ヘッジあり）、先進国債券（ヘッジなし）、新興国債券、Jリート、世界リート、金</p>	<p>8種類のインデックスファンドを通じて世界中に分散投資</p> <p>米国株式、先進国株式、新興国株式、米国債券、米国ハイイールド債券、新興国債券、米国不動産、金</p>	<p>積極的に収益を追求するアクティブファンドへの投資</p> <p>日本株式、世界株式（グロース、バリュー）、国内債券、外国債券（総合型、国債型、米国ハイイールド）、グローバルREIT、J-REIT</p>	<p>7種類の資産クラスを通じて世界中に分散投資</p> <p>国内株式、外国株式、国内債券、外国債券、国内リート、外国リート、短期国債</p> <p>*投資対象ファンドはシングルファンド、トリプルファンド、マネーファンドの3ファンドです</p>	<p>7種類の資産クラスを通じて世界中に分散投資</p> <p>国内株式、外国株式、国内債券、外国債券、国内リート、外国リート、短期国債</p> <p>*投資対象ファンドはシングルファンド、トリプルファンド、マネーファンドの3ファンドです</p>	<p>3つの株式戦略を通じ、世界株式へ投資</p> <p>米国株式、先進国株式（除く米国）、新興国株式</p>
投資配分の変更	<p>長期的な視点に基づくポートフォリオを年に1回変更</p> <p>短期的な見直しを適宜反映し、臨時で投資配分の変更を行います。</p>	<p>原則として、月に1回変更</p> <p>相場急変時などには、臨時で投資配分の変更を行います。</p>	<p>原則として、月に1回変更</p>	<p>ファンドの組み合わせ比率</p> <p>原則として、月に1回変更</p> <p>ファンド内の資産配分比率</p> <p>原則として、6か月に1回変更</p>	<p>ファンドの組み合わせ比率</p> <p>原則として、月に1回変更</p> <p>ファンド内の資産配分比率</p> <p>原則として、6か月に1回変更</p>	<p>原則として、月に1回変更</p> <p>相場急変時などには、臨時で投資配分の変更を行います。</p>
手数料※1	<p>投資一任手数料 0.374%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの実質的な信託報酬（平均値） 0.128%～0.140%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの信託財産留保額 なし</p>	<p>投資一任手数料 0.660%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの実質的な信託報酬（平均値） 0.294%程度（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの信託財産留保額 なし</p>	<p>投資一任手数料 0.770%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの実質的な信託報酬（平均値） 0.695%程度（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの信託財産留保額 最大で信託財産の0.3%</p>	<p>投資一任手数料 0.770%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの実質的な信託報酬（平均値） 0.626%程度（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの信託財産留保額 なし</p>	<p>投資一任手数料 0.715%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの実質的な信託報酬 0.409%～0.844%程度（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの信託財産留保額 なし</p>	<p>投資一任手数料 0.770%（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの実質的な信託報酬 最大0.773%程度（年率/税込）</p> <p>投資対象ファンドの信託財産留保額 なし</p>
運用体制	<p>投資運用業 FOLIO</p> <p>投資助言業 SMB Cグローバル・インベストメント&コンサルティング</p>	<p>投資運用業 FOLIO</p>	<p>投資運用業 FOLIO</p> <p>投資助言業 野村アセットマネジメント</p>	<p>投資運用業 FOLIO</p> <p>投資助言業 大和アセットマネジメント</p>	<p>投資運用業 FOLIO</p> <p>投資助言業 大和アセットマネジメント</p>	<p>投資運用業 FOLIO</p> <p>投資助言業 三井住友DSアセットマネジメント</p>

※1 その他、信託財産にかかる監査報酬等の費用等、間接的にご負担いただく費用があります。

※ご負担いただく投資一任手数料等およびリスク情報については、契約締結前交付書面、投資対象ファンドの交付目論見書等をご確認ください。

※投資対象ファンドの実質的な信託報酬は、目論見書等に記載の信託報酬等を基に試算した結果を示していますが、目安であり投資対象資産への投資状況等により変動し、また記載の数値を上回る場合があります。

・Oliveコンサルティングコース 2011年12月末から2026年3月末まで、Oliveコンサルティングコースで運用を行ったと仮定したシミュレーション期間において、各スタイルの最新の運用戦略を用いて算出した実質的な信託報酬の最小値および最大値。（目論見書基準日：2026年4月28日）。

・AI投資コース 2012年1月4日～2022年4月6日までAI投資コースで運用を行ったと仮定したバックテスト期間と、2022年4月7日～2025年12月30日まで実際に運用を行った場合の実績期間における投資配分比率（リバランス時点）の平均値（目論見書基準日：2025年12月25日）

・匠の運用コース 2011年12月30日～2023年6月30日まで匠の運用コースで運用を行ったと仮定したバックテスト期間と、2023年7月19日～2025年12月30日まで実際に運用を行った場合の実績期間における投資配分比率（リバランス時点）の平均値（2025年12月31日現在における最新の目論見書をもとに計算）

・レバラップ レバナビコース 2009年7月10日～2025年2月13日までレバラップ レバナビコースで運用を行ったと仮定したバックテスト期間と、2025年2月14日～2025年12月30日まで実際に運用を行った場合の実績期間における投資配分比率（リバランス時点）の平均値（2025年12月31日現在における最新の目論見書をもとに計算）

・レバラップ レバチョイスコース 2025年12月30日時点のレバラップ レバチョイスコースにおける投資配分比率（リバランス時点）を用いて各スタイルの実質的な信託報酬を計算した数値の最小値と最大値（2025年12月31日現在における最新の目論見書をもとに計算）

（2026年 5月 20日 時点）